

公民館における 家庭教育支援事業

今別町中央公民館

青森県今別町の紹介

- 人口
2,431人(令和3年11月30日現在)
- 世帯数
1,385世帯(令和3年11月30日現在)
- 学校数
小学校 1校(児童数32名)
中学校 1校(生徒数32名)



今別町の見どころ！！



今別町の袈月地区にある景勝地
津軽国定公園袈月海岸「高野崎」



いまべつ牛
(黒毛和牛)



津軽半島今別サーモン

地域が抱える課題

- 子育て世帯の孤立化

ひと昔前は、各町内において子育ての支援や助言など地域で子供を育てる体制ができていたが、その体制が弱まり、子育てをするにも地域における支援や助言が受けられず、孤立化することが課題となっていた。

課題解決のために

①子育て世帯のコミュニティ形成 ほっとケーキサロンの実施

②子育て講座の開催

③家庭教育支援チームの設立

①ほっとケーキサロン

こども園と家庭教育支援チーム、公民館が連携して、就学前の子どもや子育てママさん等を対象に実施。

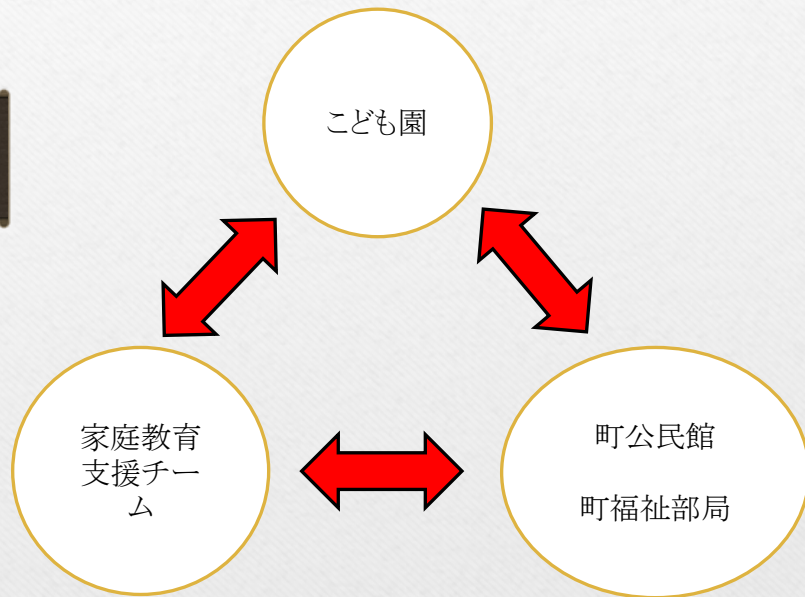
子どもが自由に遊べる空間を提供している他、保護者に学びや相談、リラックス(リフレッシュ)の場を提供する講座を月1回程度実施している。

《活動例》

リフレッシュヨガ、子育てワンポイント講座等



ほっとケーキサロン



- こども園・・・ 保育教諭による
企画立案・協力
- 支援チーム・・・ 参加者への声かけ
当日のスタッフ
- 行政・・・ 公民館施設の無償化
町保健師との連携

②子育て講座

小学校の就学児健診の時間を活用し、保護者に子育てに関する講話やリラックスできるような講座を実施している。

また、中学校では保護者が集まりやすい参観日等を活用して、思春期を健やかに過ごせるよう、子育て講座を実施。

《活動例》

子育てに関する講話

ビジョントレーニング、アロマ教室 等



③家庭教育支援チームTAZUNAの設立

- 経緯

H26年度家庭教育支援セミナーに参加した保護者、スタッフ、こども園の保育士等が「親子で交流できる場、子ども達が活動できる場が少ないという現状を少しでも改善し、地域の役に立ちたい」という思いから、H27にチーム結成

- メンバー構成

家庭教育支援コーディネーター、
民生委員、こども園の保育士 等



今別町家庭教育支援チームTAZUNA

チームTAZUNA 活動内容

- 公民館子ども教室(年5回)
公民館において地元小学生を対象とした教室を実施。
- 学校支援活動への参加
挨拶運動や学校の環境整備などにボランティアとして参加
- 家庭教育支援事業
ほっとケーキサロンへの協力



家庭教育支援チームTAZUNA

活動の成果

①孤立化の防止

ほっとケーキサロンにて、子育て世帯の孤立化を防ぎ、ネットワークを形成をすることができた。

②地域人材の発掘

サロン参加者の職業等の特性を生かし、講師を依頼

③学びの場、相談の場

学びの場は、子育て講座。相談の場は、ほっとケーキサロンを通じて保育士や家庭教育アドバイザーが対応できるようになった。

④家庭教育支援チームの結成

家庭教育支援チームができたことで、活動に厚みが増し、事業に対して良い点・悪い点を導き出し、次に生かせる仕組みが出来上がった。

今後の課題

1番の問題は少子高齢化



安心して子育てできるコミュニティの場を守るため、
人数が少なくなっても続けていくことが重要！



公民館としても、活動を継続していき、次の世代にバトンを！！

ご清聴ありがとうございました。